



ワイスメンズクラブ国際協会 西日本区
京都部部報

第3号/2019-2020年度 BULLETIN

第3号/2020年6月発行

京都部部長主題

限界を超える！ Y's Power ? No Limit !

京都部部長 島田 博司 (京都ウエスト)

西日本区理事主題
副題

風となれ、ひかりとなれ
こころ豊かにあるために、輝くために

西日本区理事 戸所 岩雄 (彦根シャトー)

国際会長主題

Building today for a better tomorrow
より良い明日のために今日を築く
On the MOVE !! さあ動こう !!

国際会長 (IP) Jennifer Jones
(オーストラリア)

スローガン

アジア太平洋地域会長主題
スローガン

Action' アクション
With Pride and Pleasure 誇りと喜びをもって

アジア地域会長 (AP) 田中 博之
(東京多摩みなみ)

第24代京都部部長 島田 博司 京都ウエストワイズメンズクラブ

限界を超える！ Y's Power ? No Limit

京都部部長としてオフィシャルの原稿執筆はおそらくこの第3号部報をもって最後となるのではないかでしょうか。

思えば子供のころから本を読むことが、漫画ですらあまり読まなかった自分が、ものを書くということがどれだけ苦手か。よく読書感想文を他人に書いてもらっていたことを思い出します(笑) 部長になれば必然的に原稿執筆依頼が山のように来ます。ありがたいことなのですが、はじめは苦痛でしかありませんでした。ですがだんだん自分自身の中で部に対する、西日本区に対する想いが芽生えてくると、その想いをメンバーの皆さんに伝えたり、気が付けば3ページ4ページと書いている自分がいました(文字数が決まっているのでこれでも自分なりにまとめて書いています)

今期は限界を超える！～Y's Power ? No ·imit !～という部長標語を掲げ、各クラブの皆さんに、今まで超えられなかつた限界に向き合い、少しでもその課題についてクラブ内で話し合ってもらいたいということを訴えてきましたが、それはまた同時に自分自身に自分の限界を超えると言い続けてきました。

後半期には新型コロナ感染拡大の影響もあり、思うような事業はできませんでしたが、この一年間京都部の皆さんに支えられ、自分の臆病で、ビビりの性格を少しでも脱却し、一歩成長できたのではないかと思っています。

こんな私を陰ながら支えていただいた我が愛するウエストメンバーの三役の皆様。そして私の無茶ぶりを何一つ文句を言わず、むしろ楽しんでコツコツと事業を計画し成功させていただいた事業主査・委員長の皆さんには感謝しかありません。この先も、自分の中のちっちゃな限界をひとつひとつ越えられるよう、頑張っていきたいと思います。

京都部18クラブの会長様をはじめメンバーの皆さん、本当に一年間ありがとうございました。

感謝！



部役員

次期部長 中村 隆司

京都ウェルワイズメンズクラブ

在京ワイズメンの皆様、一年間お疲れ様でした。そして島田部長を始め三役、役員の皆様、各クラブ会長の皆様、本当に大変な下半期でしたがご苦労様でした。見事なスタートダッシュを決められ、盛大に部会を開催され、ワイズデーを成功裏に收められ、記録的なメンバー増強の実現と、いったい下半期はどうなるんだと言ったような期待の中コロナ騒動が始まり、さぞかし残念であったと思われますが、そんな中でもきっちりとするべき事をこなされ、見事に一年を締めくくられたと思います。一年間ご尽力頂き有難う御座いました。



次期も今期の下半期同様にコロナとの共存を強いられ、各クラブ会長の皆様を始めメンバーの皆様にとって不安を抱えてのスタートとなります。少しでもその不安を払拭出来るお手伝いをさせて頂きたいと思っております。色々と活動の制限を強いられ、私自身も手探りな部分が多くなりますが、今期一年島田部長の下で勉強させて頂いた経験を糧に、皆様と共に有意義かつ楽しい一年間にさせて頂く事をお約束させて頂きたいと思います。

「楽しくなければワイズじゃない！」をモットーに一年間頑張ります。皆様、一年間本当にお疲れ様でした。そして次期一年間どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

監事 竹園 憲二

京都ZEROワイズメンズクラブ



早くも島田部長が終えようとしています。今期もまた感じた事は、部長を先頭に京都部役員さん・各クラブの会長さんと気合の入った顔ぶれでした。上半期、部会で各クラブの10年後について各クラブ会長の発表が有りました。ワイズデーでは、ギネスに挑戦とワイズメンが一丸となった上半期でした。下半期は新型コロナによって多くの活動が自粛になり、寂しい下半期でした。そんな中、島田部長の京都部メンバーへの励ましの手紙はメンバーにとっても励ましになったと思います。私事ですが、京都部で次期部長から役を4年間務めさせて頂きました。4年間、各クラブの多くの会長さんの第一声は『楽しく』とおっしゃいます。メンバー間での楽しみや事業での楽しみ、何よりも例会を楽しくとお話ししていました。『楽しく』というキーワードは大変難しいと私は思います。自分の思う楽しみと、他の人の思う楽しみには同じ場合と異なる場合があります。そこで、自分なりのプレゼンテーションをして話し合い一つの方向性を見出します。コミュニケーションによって変化し実現する事。他人に寄り添う事で新しい考えが生まれる。そこが、私は大変楽しかったです。ワイズメンズクラブによって、柔軟な考えを持つ事が少しできるようになり良い経験を、させていただきました。

本当にありがとうございました。

直前部長 川上 孝司

京都パレスワイズメンズクラブ

熱い思いを持って島田部長を中心に活動を繰り広げて来た京都部24期も静かに幕を閉じました。



私はワイズメンズ入会して今までこれほどまで各クラブの思いを京都部が汲み上げメンバーの多くが一丸となり事業をもり立てた一年はなかった様な気がします。確かに下半期はコロナウィルス拡大の影響で具体的には活動に至らなかった事業もありました。

しかし、そのような事業も各事業主査の手でクラブ会長と連携を取りながらしっかりと準備は行なわれていました。準備八割本番二割。小堀理論で言われる奉仕クラブ基本から言うと、準備段階において活動として大切な意見交換と親睦が図れていた事から成功しているのではないでしょうか。その事よりコロナ問題で揺れ動く各クラブへのサポート。西日本区に対する意見書など島田部長の京都部を取りまとめる動きは素晴らしいものでした。決して島田部長のこの一年の経験を無駄にしてはいけません。橋も楽しい一年でした。キャビネットの皆様そして京都部各会長の皆様、お疲れさまでした。

統括連絡主事 藤尾 実

京都YMCA



2019年度も、ワイズメンズクラブ京都部各クラブのみなさまには、多大なるご支援をいただき、感謝申しあげます。各クラブがそれぞれの場所で、奉仕、親睦に力を尽くし、よりよい社会づくりの輪を広げていただきました。

ワイズデーでは、ギネスチャレンジと共に、ワイズメンズクラブ京都部が一丸となって、各クラブの地域奉仕活動、SDGsの取り組みなどのアピール、台風15号、19号被災地支援募金活動など、ワイズメンズクラブが、世界を見つめ、地域に生きる活動をおこなっていることの大々的な広報の場となりました。

また、コロナ禍でも、YMCAへのマスク寄贈やYMCAの公益活動への支援募金などのご支援をいただき、部長主題「限界を超えろ！Y's Power No Limit！」のもと、YMCAがめざす「誰もが公平に将来の夢や希望を描くことができる『ポジティブネット』のある社会」になるための活動をワイズメンズクラブ各クラブのみなさまが、いつも担ってくださいました。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

部役員

書記 塚本 勝巳

京都ウエストワイズメンズクラブ



なんとも言い難い状態で終焉を迎えております！

キャビネットは実質活動1年半あり、島田期が始まる前の半年！ワイズデー、京都部会等行事が盛りだくさんの半年！そしてコロナの半年！きっちり区切れた感じが致します。

後半にはチャリティーマラソン、夜桜フェスタ、ボーリング大会、チャリティーゴルフそして夜桜フェスタと色々な行事が中止となり、なんとも言い難い感じが致します。

また慣れないZoomでの会議、役員の皆様と会って楽しみたいと思っていても出来ない！なんとも言い難い感じがあります。

次期の活動も現時点では半年間活動自粛と聞いており、なんとも言い難い感じがあります。

ワイズメンズクラブはやはり人との交流そして出来る事を探してのボランティア、地域奉仕が大切なことだとこの半年で感じました。

しかし、この1年はなんとも代替がたい一年となりました。

会計 安平 知史

京都ウエストワイズメンズクラブ



第24期京都部の準備を三役で始め、途中、各事業主査さん達も加わりトータル約1年間の準備を終え、満を持しての2019年7月スタート。島田部長の強烈なリーダーシップの熱と各事業主査さんの頑張りが在京クラブ会長さんの伝わり、京都部部会、ワイズデー、そしてYMCA支援、CS奉仕活動など、積極的に活発な活動をされておられました。

特にワイズデーは膨大な検討材料が山積みの中、担当の香山CS主査、吉田PR委員長のご尽力に加え、サポート頂いた在京クラブメンバーのお蔭で大成功！インパクトある広報事業そしてCS事業になったと思います。この勢いを後期も！と意気込んでいましたが、新型コロナウィルス感染拡大による活動自粛が広がり後期は3ヶ月から、ほぼ活動ができなく残念な状態になってしまいました。

しかしながら、スタートから約8か月間の京都部の在京クラブの勢い！そして部内に留まらず京都部の代表として島田部長自ら西日本区にも一石を投じるような問題提起や提案もされ実質的活動はフルではできませんでしたが、京都部のみんなの記憶に残る熱い年度であったと三役として自負しております。

島田部長！本当に疲れ様でした。

書記 牧野 万里子

京都ウエストワイズメンズクラブ



京都部役員の皆様、各クラブ会長の皆様、一年間お疲れさまでした。

期のスタートと共に、限界に向かって京都部一丸となって進みだし、時には険しい道のりもありましたが、皆で協力し合い順調に進んでいきました。

前半を過ぎ、もうすぐ限界を超えるという所までたどり着いたころ、国難ともいえる新型コロナウィルス、『まさか』という坂が突然現れ、予定していた行事は全て開催中止となり、先が見通せない状況になりました。

そんな中でも京都部メンバーは1人1人が事態をしっかりと受け止め、皆で協力し、知恵を出し合い、前へ進んでいくことを諦めませんでした。最後の評議会（ZOOM開催）での、各事業主査様、各クラブ会長の皆様のとても重みの感じられる活動報告から、皆で限界を超えたことを実感いたしました。皆様からいただいた勇気、そして皆様と一緒に活動できたことへの感謝、この思いをずっと大切にしていこうと思います。

一年間ありがとうございました。

事務局長 角谷 多喜治

京都ウエストワイズメンズクラブ



本当にこの1年間、在京各クラブの会長様を始め京都部役員の皆様ありがとうございました。

皆様のご協力の上、何とか事務局長のお役目を終えることができましたこと、感謝申し上げます。

そして、改めてこのような重要な役職にお誘い頂きワイズの醍醐味を体験させて頂きました島田部長！大変充実したお時間を過ごさせて頂きありがとうございました。

京都部の皆様にクラブライフを楽しんで頂けるよう京都部として考え・行動し、島田部長始め三役の皆様並びに各主査・PR委員長の皆様が掲げられている「一年間の活動方針」を円滑に実行出来るよう活動していくことを年頭に置き、精一杯楽しむことが出来ました。

100年に一度の未曾有の新型コロナウィルスによるパンデミックは想定外ではありましたが、京都部ワイズメンの皆様に支えられて、この1年間京都部としての活動を行うことができたことを誇りに思います。

島田部長始め皆様お疲れ様でした！

事業主査/PR委員長

一致団結 Cooperation is a strong force

YMCAサービス・ユース事業主査

北川 雅俊

京都ウイングワイズメンズクラブ

年間30を超える事業があるYMCAサービス・ユース事業は、4月のYサ懇談会をスタートに元気よく走り出しました。



各事業は天候にも恵まれ成功に導けたと思います。それも、京都部各クラブ会長様率いるワイズメンバー、そして役員の皆様からの熱い支援、ご協力を頂きまして各事業全て成功にできた事と感謝しております。

本当にありがとうございました。

しかしながら、その勢いを止めてしまうコロナウイルスの影響で2020年からの事業は全て中止となってしまいました。特に今期はYMCAチャリティーランの開催場所の見直しをゼロからスタートし、やっと嵐山開催に辿り着き、これからという時であった為に悔しくて残念で仕方ありませんでした。

今期でYサ主査としての役は終わってしまいます、次期の主査にしっかりと引き継ぎ実行委員会等を通じてサポートにさせて頂ければと思います。

みなさん今期、本当にありがとうございました。

未来につなげよう！！奉仕の輪

地域奉仕・環境事業主査

香山 章治

京都キャピタルワイズメンズクラブ

今期京都部地域奉仕・環境事業主査として島田部長のもと一年間活動を続けてまいりました。



前半は、地域奉仕・環境事業&PR事業合同懇談会・懇親会にはじまり、各クラブ部長公式訪問随行においては、SDGsの活動継続推奨及び勉強会の開催、新たな地域奉仕・環境事業の模索を提唱してきました。SDGsについては国連、国は2030年までをゴールと決めて活動を続けるとのことでワイズも同じく継続事業として進めて頂きたいと思います。

そして、今期活動のメインはやはりワイズデーということになるでしょう。京都三条会商店街の強力なご協力のもと、Tシャツに時間内にサインをする人数というギネスに挑戦、無事記録達成となりました。また京都市ともタイアップし、ワイズデーの目的であるSDGsの紹介やワイズメンズクラブのPR等を、イベントを通じてしっかりと行えたのではないかと思います。

今年2月に入ってからは、残念ながらコロナの影響でチャリティーボウリングをはじめ、部のすべての事業が中止となっていました。各事業が行えないもどかしさはありましたが、ワイズ活動においても新たな気づきをもつて、新たな動きが出てきました。オール京都という更なる団結心が芽生えたのも事実です。

今期は、島田部長が強いリーダーシップを発揮され、京都部を引っ張られたという印象をもちました。部役員が一つにまとまり、毎月役員会でメンバーに会えることが楽しみとなりました。

振り返れば大変な事も多くありましたが、私自身大変自己研鑽にもなり、なによりも楽しく過ごせました。

京都部ワイズメンの皆様、本当に一年間お世話になりました。

事業主査/PR委員長

楽しく仲間と共に！

EMC事業主査

山下 大輔

京都トップスワイズメンズクラブ

早いもので、京都部第24期島田部長の元、EMC事業主査を務めさせて頂き本当に有難う御座いました。

島田部長の主題でもありますように、限界を超えろ！『Y's Power No Limit』に基づきEMCと致しまして100名のメンバー増員を掲げて参りました。

期が始まって直ぐにグローバルクラブさんの8名同時入会を皮切りに島田期が始まり各クラブさんの入会式に寄せて頂きまして、本当にいい経験をさせて頂きました。

どこのクラブさんへお邪魔してもY'sメンバー1人1人の繋がりをひしひしと痛感させて頂きました。

この、楽しさを色々な方にもお伝えし京都部一丸となっワイズメンズクラブを今後共微力では在りますが盛り上げて行きたく思って降ります。

今期は、EMCシンポジウムも二回目が開催できず、2月からの行事は全て中止という状況の中で歯がゆい気持ちでいっぱいです。

ですが、このような時こそワイズメンズクラブのメンバーの結集力が大事なときだと思われます。

今後共、この気持ちを持ち続けてワイズライフを盛り上げて行きたく思います。

今年一年間本当に有難う御座いました。



繋げようワイズの輪を！拡げようワイズ

国際・交流事業主査

竹山 直司



先ず…最初に島田部長から主査の依頼を受けたのが約二年前でした。

自分には荷が重いと思いとお断りしようと思いましたが、声をかけて貰える事は有難いことだと思い参加させてもらいました。

島田期が始まる一年前から会議や準備と、こんなに忙しいんだと驚きました。

特にワイズデーが決まってからは皆さんの動きについて行くのが精一杯で心が折れそうな時もありました。

それに主査としてのやるべきことは全て初めての事ばかりで驚きと新鮮な事ばかりで楽しかったです。

特にワイズデーギネスは僕にとって一生の思い出になりました。

島田部長期の後半はコロナの影響で色々な事業が中止になり、準備をされたクラブやスタッフの方は本当に気の毒でした。

前半の盛り上がりと後半の新型コロナの影響とこれも島田部長期の伝説になったのではと思います。

主査として大したことは出来ませんでしたけど一年間島田部長と三役、各主査、PR委員の皆様と共有できた時間は僕の財産になると確信しています。

一年間お世話になり本当にありがとうございました。

事業主査/PR委員長

和顔愛語

メネット事業主査

岩本 敬子

京都ウエストワイズメンズクラブ

1年間お世話になりました。
メネット事業に関してのアンケートを京都部はすべての18クラブより提出頂きました。
ありがとうございました。

結果報告はメネット主任事業
通信N09に掲載してます。

京都部では、西日本区のメネット事業は今後も必要10クラブ、必要な4クラブ、空白4クラブとの結果でした。その中で現実的な意見として、自クラブのメネット事業は今後も不要と考えております。

西日本区内でのメネット事業については不要と考えておりません。が印象に残りました。西日本区全体では今後も事業必要な33クラブ・必要なが19クラブとの結果です。

京都部では、必要と思っているクラブが多い?と意外でした。

50年の歴史を持つメネット事業は、過去と同じようにはいかないでしょうが、継続されることでしょう!

個人的には、メネット事業はできなくとも、例会等にメネットさんの参加が増えることを第一に考えてほしいと願います。それにはメンバーの協力がなければなりませんが…

今期の京都部メネット事業としては、部会前の「メネット・女性メンバーの集い」の企画ぐらいでした。

メネットさん達と、もう少し接することができる機会を持てたらと考えながらできなかつたことが残念でした。

次期は、ワイズでもありメネットでもあるウェルクラブの中村典子さんが、次期京都部メネット事業主査をされます。今後もどうぞご協力の程よろしくお願ひ致します。

皆様、本当にありがとうございました。



その手、その汗、その思い。伝え広げよう。ワイズの輪

PR委員長

吉田 知弘

京都グローバルワイズメンズクラブ



初めて京都部の役員として就任しPR委員長の大役を仰せつかりました。

それに加えワイズデーの実行委員長としてのお役も頂戴しました。

私の1年の活動は『ワイズデーです』と言い切れる1年でした。

結果は皆様ご存じの通りワイズデーは大成功!! ギネスは1人差で世界記録保持者になられました。

この素晴らしい結果へと導きだしてくれたのが京都部メンバーの皆さんでした。

今期の京都部はまさに『ONE TEAM』だったと言います! その事例として、ワイズデーの協賛金を企業協賛146社・個人協賛148人を集めた実績、またワイズデー当日の1000人以上の参加者も、京都部メンバーから強い発信をし、各クラブ会長へ伝わり、メンバーへの熱の伝達が1000人を超える参加人数を作り出せました。

このTEAMで作ったワイズデーに心から感動し、またこの1年、本当に貴重な経験をさせて頂いた事、ワイズデーの開催に対し共感し協力いただいた全てのワイズメン達と新たに仲間になれた事は私の1年の活動で得た大切な宝物になりました。。

本当にありがとうございました。心より感謝いたします。

そして第24期の京都部メンバーの一員であることが私の誇りです。

1年間ありがとうございました。



各クラブ会長

京都ワイズメンズクラブ 山本 晋吾 会長

会長主題 みんな仲間・楽しもう ~Let's enjoy all family~



今期、京都ワイズメンズクラブ第72代会長をさせていただき、当初は不安と戸惑いばかりでしたが、クラブ会員や関係者から多大なるご協力とご指導を賜り、1年間を終えることができました。

会長をさせていただき、これまで以上に、ワイズメンズクラブという組織、クラブの諸事業の重要性、ワイズメンの繋がり、絆を再認識した1年間でした。

特に印象に残ったことが2つあります。1つは、昨年8月のチャーム多文化キャンプです。この日は、私が調達してきた黒毛和牛ステーキと鮎の塩焼きが大変好評で、参加者全員はもとより同じ京都クラブのメンバーにも大満足してもらいました。

もう一つは、昨年10月のファンド・オークション例会です。メンバーそれぞれが持つ自慢の“お宝”を例会時に持ち寄り、競りにかけその売上金をクラブの活動資金に充てるというものでした。想像以上に沢山の品が集まり、全て売り切れ、大いに盛り上りました。

今年に入り、コロナウイルスの影響でクラブ活動が停止し、メンバーと連絡が疎遠になり、大変困りましたが、リモート会議やSNSを通じて、メンバー間の繋がりの大切さを感じました。

1年間大変お世話になりました。



京都パレスワイズメンズクラブ 藤松 幸一 会長

会長主題 新しい時代へ仲間と共に ~Open a new era together~



昨年の期初は緊張のスタートを迎え、京都部部会やワイズデーと大きな事業に携われ島田部長はじめ役員の皆様や他クラブの会長様との交流が深められたのは大きな財産となる1年となりました。

上期の自クラブの事業は順調に遂行し、下期に向けて走り出し2月にはグローバルクラブ様との合同例会は100名のギラギラとした迫力のある例会は圧巻でした。

我々パレスクラブも負けずに頑張らないとだめだと気合を入れ直した矢先に、新型コロナウイルスが毎日のようにニュースで報道され、いつの間にか日本中が対応に追われる事態となりました。クラブ活動も集まる事が困難となり役員会、例会、各委員会、予定されていた事業の全てがストップしてしまい、当たり前のように毎年の事業を行なうことを全て見直さなければなりませんでした。

これから我々ワイズメンは悲観的な思いに明け暮れるわけにはいかず、あらゆる手段を講じ、ワイズ活動を継続し、試行錯誤を通じて、一時しのぎで終わる取り組みもあれば、今後さらに発展させされることもあるはずだと思います。これからも皆様と共にワイズライフを楽しみながら取り組んでまいります。パレスクラブは8月末まで今期で活動し、次期と共に新たな取り組みを模索しながら引き継ぎたいと思います。

本当に大変な期となりましたが、コロナのお蔭で沢山の気づきと出会いを得た1年となりました。

これからもこの経験を無駄にすることなく新しい時代へ仲間と共に進みたいと思います。



1年間お世話になりました。ありがとうございます。

京都ウエストワイズメンズクラブ 吉川 忠 会長

会長主題 協調



ワイズメンの皆様相変わらず大変な状況ですが如何お過ごしでしょうか。また皆様と元気にワイズ活動ができる日を楽しみにしております。

今期はウエストクラブにとりましても40期という節目であり、おめでたい年で会長を受けることも考えに考えてお受けしました。更には今期はウエストクラブから京都部部長を輩出しまして、京都部部会のホストもやらせてもらい、ワイズデーもメンバー一丸となり大成功に終わりまたギネス認定も受ける事ができ、最高の経験をさせて頂きました。

また、同期の会長も素晴らしい能力の高い方々が集まり、尊敬する事が沢山あり参考になりました。

この素晴らしい期の会長達が、コロナ禍もなく、一年やりきれたらもっともっとワイズにとって良い結果や未来を生んだと思う事がとてもとても残念です。

入会者も今までにない増加で、他クラブ同士が切磋琢磨して努力していた事が非常に残念ですが、この素晴らしい会長達はこのような状況でも、今できる事を精いっぱい考えて活動していき、新たな時代を作ると信じています。

最後になりましたが、京都部役員の皆様またクラブ会長様、本当に一年間、お疲れ様でした。完全燃焼とはいかなかったですが良き試練だと思い挑戦していきましょう。

各クラブ会長

京都めいぶるワイズメンズクラブ 井上 耕造 会長

会長主題 つなごう、新しい世代へ ~まずは自分から始めよう~



令和元年7月キックオフ例会、サバエ開設ワークを始め早くも1年が経ちました。

長い様で短かった。終わってみれば何か寂しいような感じで、思い返せば色々な事が有り、あつという間の1年でした。

何よりもこの1年間、私を支えて頂いた三役会・委員長・メンバーの皆様に感謝申し上げます。又、京都部部長島田様を始め役員の皆様、各クラブ会長様に刺激をもらい色々な角度から導いて頂いた事、改めてお礼申し上げます。

そしてこの1年間で多くの方々にお逢いできたことを改めて幸せに感じます。

また皆様に支えてもらい自己研鑽、リーダーシップを試されていると感じられる様な貴重な経験が出来た事、全てが私の宝物財産です。

この経験を支えにして、これから的人生も大いに楽しみたいと思います。コロナウイルス感染拡大の不安はまだ拭いされていない中、不安で不自由な日々がまだまだ続くと思われますが、いつか必ず終息するものと捉えて希望を持って頑張りましょう。皆様には1年間ご指導頂き本当にありがとうございました。

心から感謝申し上げます。来期が素晴らしい1年となりますよう併せて祈願致しております。

京都キャピタルワイズメンズクラブ 西川 欽一 会長

会長主題 大賤虎変 ~変革のとき。今、新たな時代でステップアップ！！~



今期の上半期は、9月の京都部会では京都部の皆さんの中で緊張しながらスピーチしたことはとても印象深く、また、ワイズデーで京都部が力を合わせて頑張った結果、1人だけギネスレコードを上回るという奇跡など、上半期は忙しいながらも充実した半期でした。

下半期に入って、毎例会の挨拶は新型コロナウイルスの感染予防について話していましたが、まさか例会を中止することになるとは想像もできませんでした。

しかし、ついに3月第二例会の中止を決定し、以降、例会を開催できずに6月を迎えるました。

しかし、メール例会の開催やWEB会議やWEB飲み会など、このコロナ禍の中でなければチャレンジしなかったことも沢山経験しました。緊急事態宣言下での他クラブ会長とのWEB飲み会はとても有意義でした。

しかし、残念なのは、5月30日キャピタルクラブチャーターメンバーである岡本尚男さんが他界されたことです。明るく優しい人柄で、熱いワイズ魂をお持ちの方でした。本当に残念ですが、我々は遺してくださったものを大切にしていこうと思います。

スタートした時には想像もしなかった一年となってしまいましたが、色々と勉強させていただけた1年となりました。皆さんに本当に感謝いたします。ありがとうございました。

京都プリンスワイズメンズクラブ 小野 敏明 会長

会長主題 守るために変えてゆこう、少しづつ ~Have a good sense of balance~



平成から令和に変わった節目の年に2回目の会長を拝命し、『守るために変えてゆこう、少しづつ』との主題を立て5年後、10年後のクラブを守るために必要な改革を模索し、実行してゆくことに尽力し、次期会長へ引き継ぐ想いであった。

しかし、半期が過ぎ歴史に残る年となる令和2年（2020年）が幕を明け、3月末に判断された『オリンピックの一年延期』と『志村けんさん死去』で、世間の雰囲気は一変し、現在に至るまでの過程は皆様が経験されたとおりである。

プリンスクラブとしても、4月～5月までの例会を全て中止。4月より準備を進めていたZOOMによるリモート例会という形で、6月第一例会を開催できた事はクラブにとって財産になったと考える。また、6月に『例会』が開催できた事は、次期につなげる上で大変大きな力となったと思います。

未曾有の国難の最中、ご尽力頂いた三役並びに委員長の皆様、クラブメンバーの皆様、大変お世話になりました。

正直に申しますと6月の例会も諦めていたのですが、三役始めメンバーの皆様の後押しにより開催できた事について大変感謝申し上げます。

各クラブ会長

京都センチュリーワイズメンズクラブ 片山 吉章 会長

会長主題 CLUB LIFE with HEART ~将来に向けたクラブ作りを!~



まず最初に、今期ほど長く感じたことは今までワイス歴30年の私にとって有りませんでした。それもこれも、『コロナ』のせいだと思います。

去年、京都部会が行われたのも遠い昔の様な気がします。・・・とは言っても、例会が休会になったのは今年の4月からであって、その間3か月なのですが、やはりメンバーの皆様にお会い出来ないと言う事が、非常に永く感じられた原因のような気が致します。

この3か月の休会の中で、非常に多くの事を学ばせて頂きました。今まで、この様な危機管理をした事が無く、特に会長の意思決定が非常に大切である事を学ばせて頂きました。京都部の中でも色々決定事項が異なり、それぞれの会長様が苦労しておられる様子が解ります。今期の会長主題に特にセンチュリーではEMCに全力で取り組むと言う事で、4月に入会式を行う予定でしたが、それも叶いませんでした。一応来期に延期と言う形ですが、それもこのコロナの影響で解らない状態です。それと、センチュリーとして最も恐れていたドロップが1名有りました。その原因もコロナです。原因是コロナと言え、それを防ぐことが出来なかったのは、会長である私の責任であると痛感いたしております。来期もまだまだコロナの影響で厳しい状況が続くと思いますが、同じ失敗を繰り返さない様来期は1メンバーでありますけれど次期会長を支え頑張っていきたいと思います。

最後に、今期の京都部の役員の皆様、会長の皆様には何かとアノログな私の為、色々助けて頂き有難う御座いました。

京都ウイングワイズメンズクラブ 森本 賴和 会長

会長主題 COREになる時 それは今!!



33期を振り返って…。

私がこの33期をどのようにしていくか、三役を始め、全役員で、何度も何度も話し合いをしてスタートした期にもかかわらず、今年の3月から全事業の中止に例会、役員の無期限の停止…。何がどうなっているのか?どうなっていくのか?全くわからない中で、ズームを取り入れた新たな手法で、無事に期を終えることができました。

中でも、当クラブの特出すべき点は、メンバーのノンドロップを達成できることです。これは今回の新型コロナによる緊急事態宣言による経済活動の停止にもかかわらず、達成できました。ピンチの後にはチャンスが来て欲しい!・仲間の結束を感じたそんないい33期をの会長を務めさせていただいたことは、感謝しております。これからもますますクラブが発展していくように、サポートしていきたいと思います。

京都部の役員の方々を始め各主査の方々には厚くお礼申し上げます。

京都洛中ワイズメンズクラブ 荒木 恒夫 会長

会長主題 心を繋ぐ ~人の心は言葉が運ぶ~



過去2度の会長期間に出来なかった事をやろう、たぶん年齢的に最後の会長職だから。少し入れ気味の、自分でない自分が一年前に存在していたような気がする。

期が始まり、さあやるぞ!と気合を入れて頑張ろうと思っていた。然し、気合を入れようが、入れまいが事は予定通り無難に進み、気が付けば事業は一つ一つ終わっていた。

長年一緒に活動してきたメンバー1人1人が事業の舵取りをし、良い方向に向かって進む。船頭多くしても船は山に登らない。

誰かが言わなくても、事業に合った船頭が勝手に出て来る。普段の仕事は、引き受けた事は自分一人で処理する事が多く、基本的に優れた司令塔ではなく、二列目ぐらいから前に進むタイプ。

上半期はサバエキャンプ場開設ワークに始まり、全ての行事はことのほか順調。下半期、折り返し点を過ぎ、これからという時につまづいた、息苦しくなり近くの医院で肺炎と診断され入院加療。

あと一月遅かったら、コロナ騒動でもっと厄介なことになっていただろう。この一年、新型ウイルスの影響で日々消化不良で終わってしまったが、この経験を無駄にせず、来季へ繋げよう・・・



洛中 2019.11.17 リトセンオータムフェスタ

各クラブ会長

京都エイブルワイズメンズクラブ 大橋 篤司 会長

会長主題 「令和」で心機一転、新しい風 ~自分がやらねば誰がやる！今をおいていつ出来る！~



年号が「平成」から「令和」にうつる節目の年に我がエイブルクラブは設立30周年を迎えました。

前半期の事業は7月のキックオフから計画通り滯ることなく実施することができました。

10月には今期京都部の最大イベント「ギネスに挑戦」達成！に参加し、11月はエイブルクラブ最大の事業「宇治福祉まつり」も成功裏に終えることができ、少數メンバーでもやればできる事を証明しました。又、メンバー増強も目標を5名に掲げ幸先よく8月に奥村Ys、10月に木下Ysの入会を得て30周年例会に向けて勢いがついたように見えました。ところが後半期に入ると「新型コロナウイルス」が世界中に蔓延しだしらるる事業にストップがかかりました。1月の「宇治市福祉新春のつどい」までは何とか開催されましたが肝心の当クラブ30周年記念例会の開催にイエローランプが灯り出しました。が、メンバーの想いが天に届き何とか2月15日に200名を超えるワイズメンにご参集頂き成功裏に30周年記念例会を挙行することができました。ワイズメンの皆さんに感謝あるのみです。その後も新型コロナは拡がりをみて「緊急事態宣言」が発動され2月24日のクラブ主催の「少年少女サッカー大会」を最後に全ての事業が自粛されることになり今期の活動は尻切れトンボ！ 不完全燃焼に終わる結果となりました。

最後に忘れてはならない事は、この4月23日チャーターメンバーでエイブルクラブに大変貢献された太田五博Ysが享年70歳で他界されたことです。大切なメンバーを失った上にコロナ禍の中、告別式にも出られなかつた事が非常に残念でなりませんでした。

ご冥福をお祈りしたいと思います。 合掌！



京都グローバルワイズメンズクラブ 森下 克己 会長

会長主題 NEXT STAGE ~まずはやってみよう！！~



一年間を終えて、本当にいろんな事があった一年だったと感じております。

8名同時入会の初例会から今期がスタートし、9月の京都部部会では”自クラブの5年先10年先の将来像についてのスピーチ”をさせて頂きました。

10月にはワイズデーギネスチャレンジにて京都部が一つになり新記録達成！！2月以降は新型コロナウイルスにより各事業、例会の中止。本当に貴重な経験をさせて頂きました。

最強で最高の三役、いつも冷静に的確なアドバイスを頂きました幹事、メンバーのポテンシャルを最大限引き出して頂きました各事業委員長の皆様には感謝致しております。

そして何よりもメンバー全員が・・掲げた『NEXT STAGE』に”まずはやってみよう”の気持ちでこの一年間頑張って頂きましたこと大変嬉しく思っております。また全メンバーの頑張りがメンバーの満足感を更に高め、その結果19名もの新しいメンバーを迎えることが出来ました。いろんな事があった一年でしたが最高の年となりました。

同じ方向を向き頑張って頂き、また支えてくださったグローバルメンバーの皆様には感謝しかありません。本当に有難うございました。



京都みやびワイズメンズクラブ 武本 聰 会長

会長主題 BIG SMILE (ビッグスマイル) ~力を合わせて笑顔の連鎖反応~



今期のクラブ活動は、後期3月から6月まで新型コロナウイルスにより活動自粛となり残念な一年となりました。

主な例会は、通常例会と合同例会(京都ウエスト・京都洛中…三クラブ新年合同、京都洛中と二クラブ合同／2回…内1回は新型コロナウイルスで中止)。

諸活動は、京都YMCAヘリトセンフェスタ(屋台出店…みたらし団子・わらび餅・和菓子教室開講)、発達障がい児セミナー共催、クリスマスロビーコンサート支援等。 地域奉仕では、視覚障害者施設「洛西寮」夏祭りへの屋台支援(焼きそば・かき氷・フライドポテト)、又児童養護施設「遙学園」の子供たちと職員さんと共に「ユニーク大会」の開催。

今期の締めとして6月20日(土)、鴨川の納涼床席で3密を避け例会を開催し一応27期を終了しました。

各クラブ会長

京都トップスワイズメンズクラブ 八木 薫史 会長

会長主題 真摯たれ紳士たれ ～ハメを外すもたまにはいいさ～



2019年7月にキックオフを迎え、あつと言う間の1年間でした。

まずは感謝を伝えたいと思います。 私自身に足りない色々な部分を支え、導き、この1年間を支えてくれた三役の皆様に。

そしてそれぞれの委員会委員長、クラブメンバーの全員に。正直今思うと、私自身がやってみたいという気持ちだけで会長という職務を受けてしまっていたように思い、今更ながら少し反省もしております。ですが、キックオフから始まり、通常例会の他に開催した

夏のBBQ例会、少年野球例会、をトップスクラブでは普段無い、第二例会という形でも開催出来た事をとても嬉しく思っております。私の希望や考えを聞いてメンバーが色々と行動を起こし、少しづつ形になってゆく様を見ながら、なんと心強い仲間がいるものかといつも思ってこの1年を過ごしました。

ワイズメンズクラブの一人として、自身が所属するクラブの会長を努める事が出来たことは、今後の人生においても、家族の事や、仕事の事、一人の社会人としてかけがえのない考え方を学べた1年になったと思います。

最後になりましたが、ワイズメンズクラブに関わるすべての皆様に感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

京都トゥービーウィズメンズクラブ 村澤 功三 会長

会長主題 繼続は力なり ～行動と継続にこそ未来がある～



今期の会長目標は、「メンバーみんなで楽しむことを前提とし、クラブをボトムアップし力をつける発展させる。」でした。

期初に1年間のクラブ及び各事業委員会の方針と計画をたてスタートしましたが、最初は手探りでクラブ運営を進めて参りました。

上半期が過ぎここから自分らしさを出していければと思っている時、新型感染症が世界中に広がりました。

各事業委員会の事業・ワークが全て中止となり、3月・4月は例会の中止を決定しました。

徐々に委員会や役員会をZOOMで行うようになり、5月第2例会からはZOOMを使用する例会を再開しました。

残念ながら会長目標が達成できたとは言えませんが、世界中が緊急事態状況下にある中で、クラブ運営を担う経験ができたことは得難いことだったと思っています。

今後は会長経験者として、微力ですがクラブにより厚く貢献できたらと思っています。

1年間、ご支援とご尽力をいただき有難うございました。

京都東稜ワイズメンズクラブ 奥西 大輔 会長

会長主題 一致団結 ～全員の力でメンバー増強へ～



1年間、会長という大役を終えた今正直なところホッとしています。

振り返ってみればやはり下期はコロナウィルス感染拡大防止の為、ほぼ何もできなかった事が心残りになります。

そんな中、印象深いことと言えばやはり「ワイズデー」です。

ワイズデーの企画内容が発表された当初、東稜クラブは私を筆頭に参加に消極的でした。

そんな時会長会があり、他クラブの会長さん達のワイズデー取り組む姿勢に大変刺激を受けました。そしてクラブから50人で参加する目標をたてメンバーに思いを伝えました。

その後のメンバーの協力のおかげで目標を達成でき、京都部全員でのギネスチャレンジも成功と最高の1日になりました。色々な方に東稜クラブやワイズメンズクラブを知ってもらういい機会だったのですが、

EMC活動に生かしきれなかったのが課題でもあると思います。

1年間たくさんの方々に支えられ大変貴重な体験をさせて頂きました。

今後は少しでも多くの方々のサポートが出来ればと思います。



各クラブ会長

京都ウェルワイズメンズクラブ 田栗 和典 会長

会長主題 Let's do the best that we can do now. ~今できることを全力で~



「令和」の幕開けとともに今期が始まりました。来期の中村京都部部長期の準備期間と位置付け、次期部会の計画立案と同時進行する事業運営となりました。実行委員会を重ね、部会の方針、それに即した内容や進行と具体的に進捗をしていきました。ウェルのモットーとなつた「クラブの活動を楽しむ」という流れが定着して、多忙な中でも一つひとつの事業を楽しみながら行えているのではないかと感じています。

Yサ事業においても、Y's Dayを含むCS事業においても、高校生とコラボをするなど新しい取り組みを行いメンバー間や他クラブとの交流を楽しむことができました。しかし、私が約1か月入院ということになり、クラブ運営にメンバーの皆様に多大なご迷惑やご心配をおかけいたしましたこと、深くお詫びいたします。EMC事業においては、2名の入会を迎える同時に後半期にも複数の入会が期待されていました。ウェルクラブの新しい時代の到来であると感じています。中国から始まったCOVID-19の猛威が、全世界に伝播し、日本も自粛生活を強いられ、経済をはじめ何もかもストップするという今まで経験したことのない状況に陥ってしまいました。西日本区、京都部また、YMCAのスケジュールがキャンセルとなりましたが、ネットを使ったWEB会議等、新しい仕事や交流の形態が到来したように感じています。長年の懸案であるDBC、IBCも方向性はできつつあると思います。次期中村典子期に、まずはDBCを模索し締結できればと願っています。今期を終えるにつき、コロナの影響で十二分に活動できなかったことが残念です。いち早くコロナが収束し、平常の生活が取り戻され、経済がV字回復し、すべてのメンバーが生き生きとして一つひとつの事業を楽しみながら取り組んでいけることを願っています。

京都ZEROワイズメンズクラブ 坂口 バネッサ 会長

会長主題 スマイル！ ~元気あふれるクラブ ~Did you smile today?~



この一年間私に協力してくれたワイズメンズクラブの皆様に感謝したいと思います またゼロクラブの皆様には色々とサポートして頂き誠に有難うございました。

こんな私をクラブの会長にして頂き任期を終えることが出来たのも皆様の協力のおかげであり大変感謝しております。

会長の主題としてスマイル 元気あふれるクラブ を掲げてまた会員を10名増やす事を目標として取り組んできました。

会員を10名増やす事は達成出来ませんでしたがクラブの皆様との取り組みは活発に出来たと思います。

また例会を含めて色々な活動で皆様が力を發揮結集し笑顔のあふれた元気あるクラブになれたのではないかと思います 今思い出すと会長になっての最初の例会で皆様に私一人では何も出来ないので協力して頂きたいとお願い致しました。

本来会長である私がしなければならない報告書等ほとんど三役の方に助けていただきました。

日本語を理解するのに苦労し時にはパニックになり白髪も増えた時期もありましたか最近では楽しく活動する事ができるようになりました。

今は職業訓練コースを卒業した時のような気分になっています。

今後は私はフィリピンでのワイズメンズクラブの広報活動に参加したいと思います。

最後に一年間ありがとうございました。

北京市フロンティアワイズメンズクラブ 平野 和也 会長

会長主題 地域愛さらに！！ ~全員の力を結集~ ~Local love further~



2019年に7月にキックオフをしてから、早くも1年が経とうとしています。思い返せば色々な事がありすぎて長くも感じ、あっという間だったとも感じます。

何より、この1年間を支えてくれた、三役、役員、メンバーの皆さんに感謝の気持ちで一杯です。

また、京都部の島田部長を始め、役員様、各クラブ会長様、この右も左も分からない私を色々な角度から導いて頂けたこと、改めましてお礼を申し上げます。

本当に有り難うございました。ワイズデー等の京都部の運営になかなか尽力する子とが出来なかった事、お詫び申し上げます。

しかしながら、この1年間で、多くの方にお会い出来たこと、幸せに感じました。力の無い私でしたが、皆さんに支えてもらえる喜び、また、厳しくも自分を試されてると感じ踏ん張った経験、全てが財産です。

この経験を胸に、この後の人生を楽しみたいと思います。

本当に1年間有り難うございました。